

【エアコン工事について】

令和7年度8月に体育館のエアコン工事が始まります。工事自体は8月中に完了しますが、エアコン使用は令和8年度4月からの予定となっております。校内における生徒の体調面の管理は学校全体で行います。使用時期に変更があればご連絡します。ご理解よろしくお祈いします。

【避難訓練】

6月11日(水)に避難訓練を実施しました。今回は地震を想定した訓練です。訓練開始前には、各クラスで事前学習をおこないました。災害が発生した時に助ける・助かる方法は以下の3つ。

- 自助 = 自分で自分を助けること
- 共助 = 家族、企業や地域コミュニティで共に助け合うこと
- 公助 = 行政による救助・支援のこと

地震が発生したら、まずは『自助』です。自分で自分の命を守ってください。そのために必要になる重要な行動は覚えられましたか？



『Drop』『Cover』『Hold On』。それぞれどのような行動を示すのか。ご家庭でも地震発生時の行動について話し合いをしておいてください。日々の意識と定期的な訓練が被害を最小限に抑えてくれます。

【六中生に求めること】

ずばり“自主性・主体性”です。避難訓練の場面でも話はしましたが、自主性と主体性はどちらも大切なものです。よく似たような言葉なので、どういう違いがあるのか気になり AI に聞いてみると…

- 自主性:①与えられた範囲内で、自ら率先して行動する。
- ②決められたルールや手順の中で、創意工夫を凝らして行動する。
- 主体性:①自分で課題や目標を設定し、その達成に向けて行動する。
- ②周囲の状況や情報を踏まえ、自ら考え、判断し、行動する。

との返事が返ってきました。災害が発生した時と照らし合わせると、主体性②はまさに当てはまるのではないのでしょうか。地震が発生した時、自分が立っている場所はどのような状況なのか。津波が来るのか、来ないのか、火災はあるのか等、どのような情報があるのか、または、必要なのか。それらすべてを踏まえ、その場から離れるべきか、とどまるべきか。離れるならば、どんな場所へ移動するのか。こういったことを瞬時に判断しなければいけない場面が必ずあります。これは大人だから正しい判断ができるということではなく、普段から様々な事象に対して“自分でしっかりと考えて取り組んでいるかどうか”がポイントになるのです。

学校生活の中には特に決められたゴールがなく、自主性・主体性を発揮するきっかけになる場面がたくさんあります。

例えば、先生に用事があり職員室を訪ねたけれど、その先生がいなかった時。あなたはどうしますか？

たったこれだけの状況でも自分で考えるべきことはたくさんあります。

普段の学校生活の中でいろいろ考えて、悩みながら最適解を導き、自主性・主体性を身に付けていってください。

【大雨、台風に備える:六中校区の状況は?】

吹田市のHPには、『吹田市洪水ハザードマップ』がアップロードされています。見たことありますか？(英語、中国語、韓国語で記載されたものもあります。)

ハザードマップによると、みなさんが通う第六中学校区は、1mから3m未満の洪水の可能性があるとのこと。その情報を得たとき、あなたはどのようなことを準備しておきますか？

洪水ハザードマップ(吹田市全域図)【令和4年(2022年)3月作成】



- 日本語版(吹田市洪水ハザードマップ) (PDF 12.5MB)
- 英語版(Suita City Flood Hazard Map) (PDF 12.9MB)
- 中国語版(吹田市洪水危険度地図) (PDF 13.4MB)
- 韓国語版(스이타시홍수위험지도) (PDF 12.9MB)

- ※マップはA1サイズ(594mm×841mm)で作成しています。印刷するときは、必要に応じて印刷サイズの調整を行ってください。
- ※デザイン・イラスト等の無断転載はできません。

マップの確認ポイント

- 洪水や土砂災害が発生した時に、自宅や普段よく利用する場所(職場、学校など)が危険ではないか
- それらの場所から避難所までの経路を確認した上で、安全な避難場所はどこか
- 自宅などが浸水想定区域内にある場合は、浸水する深さ(色)を確認し、自宅などの中で浸水しない高さの場所にも避難できるか

その他のハザードマップや関連情報

- 吹田市高潮ハザードマップ
想定最大規模の台風による高潮が起きた場合の浸水予測を示しています。
- 吹田市内水ハザードマップ
大雨で下水道等により雨水を排水できないことから発生する浸水予測を示しています。
- 防災マップ(避難所等の場所)
避難所や一時避難地などの災害時に役立つ施設などの情報を掲載しています。
- 吹田市防災ブック
正しい避難の方法も含めて、災害への備えや災害時の対応などの情報を掲載した冊子です。

(吹田市 HP より)

【多様化、複雑化する“危険”】

みなさんの身の回りにある“危険”は交通事故や自然災害だけではありません。

最近、ニュースでも耳にすることが多くなった『オンラインカジノ』、以前から社会的な問題である『ストーカー被害』など多様化、複雑化が進んでいます。このような危険から自分を守る(自助)ためには、

- ①そのことについてまずは知ること(知識)。
- ②その知識を活用して、自ら(主体性)考え(思考)、判断し(判断)行動(表現)する。

上記のことが必要です。今後は、想像もしなかった危険が発生するかもしれません。その時に自分がどのような情報をもとに、どのような行動を取るかが重要です。

総務省・警察庁・子ども家庭庁 別添

オンラインカジノは **犯罪**です!

海外サイトも、日本で利用すれば **犯罪**

オンライン(スマホ、PC)でゲームを行い、その結果に対して、現金・電子マネー等を賭けるもの

あやま **誤った情報** にだまされない!

「海外で合法に運営されているから大丈夫」「日本には取りしまる法律はない」「違法と知らなかったと主張すれば罪にならない」

友達をさそったり、周りに広めるのも **犯罪!** 捕まります!

▶ **これらはすべて誤り!**

- ▶ 初めは無料で利用できるものや、スロットゲームだけでなく、パズルゲーム、格闘技・スポーツの勝敗を競うものなど、さまざまな種類があります。
- ▶ オンラインカジノの利用をすすめる **紹介サイトや動画にも注意**しましょう。
- ▶ もし利用してしまったときは、**周りの信頼できる大人に相談**しましょう。

それもしかして、ストーカー?

ストーカーの被害者にも加害者にもならないために